

## 若杉山辰砂採掘遺跡の現状と課題



▲坑内中央部から奥のようす。不要岩石の堆積のため、天井が低く這って進む。

水井町にある「若杉山辰砂採掘遺跡」は、全国唯一の、辰砂（水銀朱）を採掘した遺跡です。弥生時代後期初頭から古墳時代前期初頭（1世紀～3世紀末）にかけて稼動しました。本遺跡はわが国の鉱山資源獲得の在り方を示す遺跡として極めて重要であることから、令和元年10月16日に国史跡に指定されました。

指定を受け、本年度より本市では、史跡の適切な保存と整備・活用等を目的に、「保存活用計画策定委員会」を設置。委員6人で組織され、今後の方針を検討していきます。

本史跡は、歴史的価値が高い一方で、諸課題があります。例えば、遺跡に分類

市民の皆さまに、遺跡の整備と活用について理解を深めていただく機会として、「若杉山辰砂採掘遺跡」をまちづくりの活用するための方策を探ります。ぜひシンポジウムにご参加いただき、一緒に考えていきましょう。



▲表原市長の下、策定委員会を開催

現状を維持することの難しさがあります。今後どのような整備活用を図るのか。課題解決への足掛かりとして、シンポジウム「古の採掘遺跡サミット」を開催することとしました。同様の採掘遺跡をもつ他自治体の担当者等を招き、各遺跡の活用方法を比較検討します。



►史跡内急斜面での調査  
布するスリ場。採掘時の不要岩石の堆積層）採掘から加工への痕跡を残す大切な構成要素ですが、遺跡は急斜面に立地しており、現在も土砂崩れの発生で崩壊が進んでい

ます。また、野生動物等の侵入も見られ、



▲若杉山辰砂採掘遺跡周辺

### 若杉山辰砂採掘遺跡概要

※ 未整備のため、大変危険です。遺跡区域には許可なく立ち入らないでください。



星ヶ塔黒曜石原産地遺跡（長野県下諏訪町）



多田銀銅山遺跡（兵庫県猪名川町）



星糞峠黒曜石原産地遺跡（長野県長和町）



甲斐金山遺跡（山梨県身延町）



大坂城石垣石丁場跡・小豆島石丁場跡（香川県小豆島町）

# 古の採掘遺跡サミット

「史跡若杉山辰砂採掘遺跡の未来を考える」

日時 **10月17日** [土]  
13:00～17:00

文化会館・夢ホール  
富岡町西池田135番地1

定員200人・要申込

午後3時50分 **【3部】 ディスカッション**  
テーマ  
コーディネータ  
パネリスト  
「史跡を活かしたまちづくり」  
榎田佳男さん（大阪府立弥生文化博物館館長）  
羽田健一郎さん（長野県長和町長）、  
青木 悟さん（長野県下諏訪町長）、  
松本 篤さん（香川県小豆島町長）、  
表原立磨（阿南市長）

午後2時 **【2部】 他事例報告**（詳細については、4～5ページ）  
① 星糞峠黒曜石原産地遺跡について 大竹幸恵さん  
② 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡について 宮坂 清さん  
③ 甲斐金山遺跡（中山金山）について 小松美鈴さん  
④ 多田銀銅山遺跡について 青木美香さん  
⑤ 大坂城石垣石丁場跡（小豆島石丁場跡）について 川宿田好見さん

正午 **一般受付開始**  
午後0時40分 **開会行事 「阿波人形浄瑠璃」**  
午後1時 **開会式 【1部】 講演・報告**  
「史跡の保存と活用について」 川畑 純さん  
報告「若杉山辰砂採掘遺跡の現状と課題」 向井公紀  
（文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門文部科学技官）  
（文化振興課事務主任）

タイムスケジュール  
史跡若杉山辰砂採掘遺跡の整備と活用方法を考えるため、本市と同様に採掘遺跡を持つ他自治体の担当者等を招き、シンポジウム「古の採掘遺跡サミット」を開催します。

当日は、同日・同時刻にYouTube阿南市公式チャンネルで、生ライブ配信を行います。



## 参加自治体に所在する遺跡概要

往復はがきでお申し込みください。

### 【往信表】

〒774-8501  
富岡町トノ町12番地3  
文化振興課  
「古の採掘遺跡サミット」係

### 【往信裏】

- ①住所(代表者)
- ②氏名(1通で2人まで可)
- ③連絡先(代表者)

【返信表】 代表者の住所・氏名

【返信裏】 空白

申込締切日 10月1日(木)(必着)

定員 200人  
(応募者多数の場合は抽選。  
10月1日以降に返信予定)

参加費 無料

### 注意事項

※マスク着用の上、ご参加ください。  
※開催会場のガイドラインに沿って開催予定ですが、新型コロナウイルス感染状況により、無観客での開催になる場合もあります。最新情報は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 文化振興課  
☎22-1798

## 5

### 大坂城石垣石丁場跡(小豆島石丁場跡)について

報告者 川宿田好見 さん  
小豆島町生涯学習課 学術専門員

徳川大坂城築城時に開かれた石丁場跡。小豆島町岩谷地区の天狗岩、八人石、豆腐石、亀崎、南谷、天狗岩磯の各石丁場跡全体が指定範囲であり、全体で約1,600個を超える築城用石が残っている。ここでは福岡藩黒田家の黒田筑前守長政とその嫡男忠之が採石を行った。当時の石切技術を伝える矢穴・矢穴痕や、各種の刻印が確認できる。大坂城完成後にも、黒田家は明治に至るまで番人七兵衛を置き、この地の残石を管理させた。



## 4

### 多田銀銅山遺跡について

報告者 青木美香 さん  
猪名川町教育委員会教育振興課 学芸員

多田銀銅山遺跡は約10Km四方に広がる銀銅鉱石の採掘から製錬を行った遺跡。鉱山の採掘は平安時代末期に開始され、昭和48年に閉山されるまで採掘の場所や主体者を変えながら継続的に行われていた。このうち銀山地区は豊臣秀吉の鉱山開発を経て、17世紀後半に幕府の直山となり、代官所と口固番所が置かれ、鉱山管理が行われている。当時、最先端の製錬技術が採用され、生野銀山にも伝えられている。調査では代官所跡や銀銅生産関係の遺構が良好に保存されていることを確認。江戸～明治時代の鉱山の在り方や産業技術史上で重要であることから平成27年に国史跡に指定された。



## 3

### 甲斐金山遺跡(中山金山)について

報告者 小松美鈴 さん  
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 学芸員

鉱石からの産金作業は、わが国において甲斐国が先駆けである。中山と黒川両金山の調査により、中世戦国期(16世紀初頭～)に、山中で営まれていた初源期山金山遺跡の全容、鉱山技術の在り方、作業や生活の様子が解明された。124カ所のテラス、坑道16本、77カ所の露頭掘り採掘域など、山中に作業域と生活域がコンパクトに集約された現場は、甲斐金山が全国に先駆けて山金(山からの採掘)山の始まりとなっていることを示す貴重な遺跡として、国史跡に指定されており、また博物館活動の中で継続的な金山遺跡調査が続けられている。



## 2

### 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡について

報告者 宮坂 清 さん  
下諏訪町教育こども課 課長補佐

縄文時代前期から晩期(5,700～3,000年前)にかけての黒曜石採掘遺跡。100年前の大正9年、徳島県出身の人類学・考古学者 鳥居龍蔵によって黒曜石原産地遺跡であることが確認された。近年の調査では、35,000㎡の範囲にまだまだ埋まりきらずにくぼみとして残っている縄文時代の黒曜石採掘跡が、193カ所分布していることが確認されるとともに、縄文時代前期と晩期の黒曜石採掘坑が発見されている。縄文時代の資源開発や流通を考える上で極めて重要な遺跡である。



## 1

### 星糞峠黒曜石原産地遺跡について

報告者 大竹幸恵 さん  
星くずの里たかやま黒曜石体験ミュージアム 学芸員

長野県霧ヶ峰高原にある本州最大規模の黒曜石原産地帯で発見された、希少な縄文時代の黒曜石採掘遺跡。星糞峠という地名は黒曜石の別称である。採掘の痕跡は特異な「へこみ」として地表面からも観察することができ、史跡公園として公開されている。継続的な発掘調査の結果、縄文時代早期(8,000年前)と後期(3,500年前)に行われていた採掘活動の詳細が明らかになった。後期の採掘跡では、地下5mを越える深さから木製の採掘具や土砂崩れ防止の木柵などが発見され、令和3年にその様子を公開する保存展示館が開館する。

